

「NHK海外たすけあい」の特徴

特徴
1

今年で43回目を迎える
歴史と信頼のある募金キャンペーン

国際赤十字創設120周年、NHKテレビ放送開始30周年という記念の年であった1983年にはじまり、現在まで長きに渡って続いている歴史のある募金キャンペーンです。

特徴
2

必要な人に、必要な支援を
対象を絞らず 幅広く行き届く支援

女性や子どもはもちろん、より幅広い人びとに支援を届けるとともに、紛争や災害など、様々な危機を対象に支援を行っています。

様々な人びとを支援



様々な危機に対して支援



紛争

自然災害

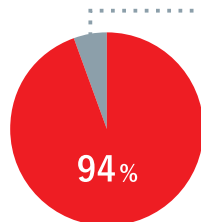
病気

特徴
3

ご寄付が
実際の支援に充てられる割合は 94%

ご寄付の94%を実際の海外支援活動に充てており、緊急救援から復興支援、開発協力に至るまでご寄付を有効活用しています。

実際の支援に
充てられる
寄付の割合



キャンペーン
周知・報告等の費用

一緒に、救える。 日本赤十字社へのご寄付の方法

郵便局・各金融機関

全国の郵便局、その他取扱いのある金融機関で寄付できます。



インターネット

クレジットカードや各種キャッシュレス決済で寄付できます。

日赤 海外たすけあい

<https://www.jrc.or.jp/lp/save365/donation/>

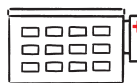


特設サイトへ



窓口

日本赤十字社の各都道府県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK各放送局などから寄付できます。



その他

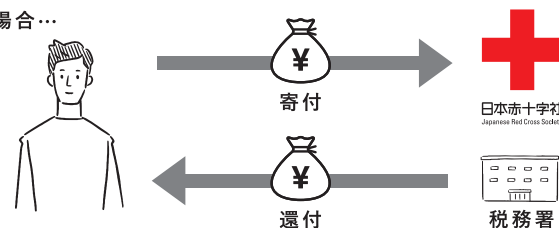
Yahoo!ネット募金やAmazonサイト、ローソンの店頭マルチメディア端末「Loppi」、ファミリーマートの「マルチコピー機 募金受付サービス」、SoftBank「つながる募金」から寄付できます。相続による寄付も受け付けています。



税制上の優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は確定申告することで個人の所得税や、企業の法人税の優遇措置を受けられます。

個人の場合…



所得控除の計算式

A:年間所得総額 - B:(寄付金額※ - 2,000円) = C:所得税課税対象額

※ただし、寄付金額は年間所得総額の40%が上限となります。

人道支援に 空白地帯をつくらない。

赤十字は、
動いてる!



NHK 海外たすけあい

2025年 12月1日(月)～12月25日(木)

日赤 海外たすけあい

「NHK海外たすけあい」に
関心をお寄せいただき、
ありがとうございます。

この活動は、
日本赤十字社とNHKが
毎年継続的に実施している
募金キャンペーンです。

今この瞬間も世界では多くの人が
武力紛争や病気、自然災害など
様々な人道危機で苦しんでいます。

関心の差によって支援に差が生じないように、
人道支援に空白地帯をつくらないために、
赤十字はどんな時も苦しんでいる
人びとの側で活動が続けていきます。



人道支援に 空白地帯をつくらない。

今、紛争や気候変動などで
支援を必要とする人は、約3億人と言われています。
関心の差が支援の差につながってはいけない。
世界のどんな場所にも支援を届け続けたい。
この想いをみなさんと分かち合いたい。
そう願いながら、赤十字は365日活動を行っています。



赤十字の支援活動



〈CASE 1〉 紛争に伴う難民・避難民などへの対応

ウクライナやイスラエル・ガザなど、世界の様々な人びとが、紛争の影響を受けています。スーダンのように、十分な支援が届きにくい人道危機も深刻さを増しています。また、ガザのように支援を届けたくても、それ自体が物理的に困難な人道危機もあります。救援活動に加え、生計支援や離散家族支援などを通じ、いかなる状況でも人道支援を続けます。



〈CASE 2〉 頻発、激甚化する 災害への対応

世界各地で、気候変動の影響とみられる災害が頻発しており、食料危機や保健衛生状況にも深刻な影響を及ぼしています。赤十字は、食料支援、現金・物資給付による生計支援、医療・給水・衛生支援、こころのケア活動など、多角的な支援活動を展開しています。



〈CASE 3〉 人びとのレジリエンスを 高めるために

赤十字では、平時から人びとが予測不能な災害などに備え、自ら対応し、立ち上がる力＝「レジリエンス」を高めるための防災教育や救急法の普及等を行っています。地域の生活習慣や文化をよく理解した上で、現地ボランティアとも協力して活動に取り組んでいます。

世界から届いた「ありがとう」の声



ガザ南部ラファ リームアボさん

他の病院ではスタッフが足りず、受け入れを断られ不安でしたが、野外病院での赤十字の支援、出産を助けてくれた医師や看護師に感謝しています。ハンユニスからラファへ、ラファからアル・マワシに避難する苦しい生活で、検査も受けられず不安でした。帝王切開で出産し今も動くのは難しいですが、この子が私たちの支えになってくれることを願っています。



モンゴル・ザブハン県 バトエルデネさん(仮名)

妻と私は厳しいゾド(大寒波)を経験した後、気持ちが不安定になることがよくありました。ちょうど支援を必要としていたときに、赤十字から現金支援と動物ケアキットが届き、本当に助けられました。そのおかげで少し心に余裕が生まれ、今では近所の家畜の世話も手伝えるようになりました。赤十字の皆さんに心から感謝しています。



南部アフリカ地域(エスワティニ) ノクトウラさん

自分がHIVに感染していることを受け入れるのは辛かったけれど、クラブ活動で仲間と出会い、孤独を感じずにいられました。また、毎年食料支援があり、干ばつの中でも助かっています。最近ではアクセサリー作りを教えてもらい、収入を得る機会にも繋がっています。赤十字からのさまざまな支援に、本当に感謝しています。

あなたのご寄付でできること

2,000円 ▶ 安全な水 2ℓ×40本



不衛生な環境下で暮らす人びとに飲料水、生活や医療で使用する水を届けます。

5,000円 ▶ 給食 30人分



おなかを満たせない子どもたちへ支援を行います。

10,000円 ▶ 小児用医薬品 500人分



下痢や感染症でいのちの危機に瀕している子どもたちへ医薬品を届けます。